

# ● 神社から皆さまへ、6つのお願い ●

神社は古来より、その時代に流行る疫病の退散や自然現象による災害など、いわゆる「災厄」を祓い、鎮静祈願をし人々の気持ちに救い癒やして参りました。日々参拝される皆さまも、この事態の早い収束を祈願されている事と存じます。年末年始に向けて、神社では密になる事が予想されます。様々な防止策を取りながら、皆さまが安心して神社にお参り出来る環境を作って参りますので、ご協力お願い申し上げます。



### マスクを着用しよう

神社境内では、マスクの着用をお願いします。



### 時期をずらそう

初詣は密になることが予想されます。三が日等にこだわることなく時期をずらしての参拝をお願いします。



### 距離を保とう

人と人との距離を十分に保ちながら、お参りしましょう。距離が取れない場合は、会話をできるだけ控え、静かに参拝して下さい。



### 混雑を避けよう

お神札やお守りは授与所が空いている時をお願いします。



### 事前確認をしよう

御参拝に際しホームページにて状況を確認して下さい。



### 日程・人数調整を

会社や団体での御祈禱を希望される方も日程や人数を調整するように、ご協力をお願いします。

国旗・神棚は当社でもお頒ちしております。(国旗一セット 千五百円・神棚 各種)



軒先に「日の丸」をお揚げになつて下さい。そして、お父様・お母様は、お子様方に、この素晴らしく、美しい「日の丸」の意味を話してあげて下さい。

以前は祝祭日になると、どの軒先でも「日の丸」を揚げておられました。しかし、現在、家々で掲揚されているお宅はめっきり少なくなりました。実に残念なことです。  
ある氏子さんは、「うちも、きちんと揚げなあかんねんけど...」また子供達は、「日の丸の旗って神社とか電車とかしか、付いたらあかんのん?」とかわい質問をされます。  
祝祭日は、「旗日」と申しますように、この日は国旗を揚げる日なのです。それは、公共の施設のみならず、各家々でも同様のことです。世界的な大会の時だけ、「日の丸」を見て心揺さぶるのではなく、平素から我々の身近にあるべきものなのです。  
青空のもと、風にはためきなびく美しい姿は、慌ただしい日々のなか、ともすれば忘れてしまう太陽への感謝、そして日本の国に住まいするありがたさをふと思い起こさせてくれます。  
どうぞ、祝祭日には、ご家族揃って軒先に「日の丸」をお揚げになつて下さい。そして、お父様・お母様は、お子様方に、この素晴らしく、美しい「日の丸」の意味を話してあげて下さい。

町々に「日の丸」を

## 国民の祝日には国旗を掲揚しましょう

1月1日 元日	1月第2月曜日 成人の日	2月11日 建国記念の日	2月23日 天皇誕生日	3月21日ごろ 春分の日	4月29日 昭和の日	5月3日 憲法記念日	5月4日 みどりの日
5月5日 こどもの日	7月第3月曜日 海の日	8月11日 山の日	9月第3月曜日 敬老の日	9月23日ごろ 秋分の日	10月第2月曜日 体育の日 (スポーツの日)	11月3日 文化の日	11月23日 勤労感謝の日

